

## 2024年度

### ひかり保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月13日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り保育内容を見直す。子ども達のありのままの姿を受け入れ、一人ひとりの気持ちを受容しながら「子どもの最善の利益」のための保育・職員の役割を話し合い共有・実践できるように取り組んだ。
子どもの発達援助	一人ひとりの姿を捉えて適切な保育環境・玩具や絵本の提供をし、気持ちに寄り添う言葉かけを意識した保育を心掛けた。今後も季節や個人の興味、発達に合わせて寄り添った工夫をする。食に関して給食スタッフと話し合いを重ね一人ひとりの発達に合った食の提供を行えた。
保護者に対する支援	送迎時や連絡帳で子どもの成長や子育てについての悩みなどの共有を図り信頼関係を築けるよう心掛けた。保育参加や送迎時に保育室に入室してもらい生活の場を知ってもらうことで、遊びの様子を見てもらえた。今後も保護者様の思いに寄り添い成長を共に喜び合える関係づくりをしていきたい。
保育を支える組織的基盤	職員同士の共通理解・情報共有は、朝礼・昼礼・終礼で伝達し連携しあった。職員会やミーティングで日々の振り返りや子どもの様子を共有し保育に活かした。今後も保育の質の向上に向け外部研修・園内研修を実施し職員のスキルアップを図っていく。

総評
職員同士の話し合いを密にし園内の情報共有ができた。次年度は、保育園内の環境構成等について定期的に話し合い見直し、工夫していくことが課題と考える。保育理念・保育目標を全職員が意識しながら、子ども達の発達を捉えた環境設定し保育をしていく。コミュニケーションを大切にしながら子ども・保護者様・職員が安心できる保育園となるように努めていきたい。